

登録コード	E6203900	開講年度	2026					
授業科目	障害児臨床学実習					担当教員	楠見 友輔	
英文授業名	Clinical Practicum in Special Needs Education					副担当	宮地 弘一郎	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					子どもの障害を理解し個に応じた教育を実現する特別支援教育マインドを育成する。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					障害を評価し個別の指導計画を作成する上で不可欠なアセスメントについての専門的知識・技能を習得する		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	特別支援教育に必要なアセスメントおよび教材開発の基礎的な演習と、臨床での演習を通して、個別の指導計画の作成に必要な児童生徒の実態把握と支援に必要な知識と技能の習得を図る。 授業内容 1)心理教育アセスメントの概要について解説し、観察法、知能検査、発達検査、面接法等について演習を行う。 2)特に、障害児に教育において必要な検査と分析方法について取り上げる。							
(5)授業計画	第 1 回 障害のある子どもの実態把握と発達支援について 第 2 回 アセスメント : 観察法の種類と特徴 第 3 回 アセスメント : 観察法の実施手続き 第 4 回 アセスメント : 観察と記録の実際 (逸話記録法等) 第 5 回 アセスメント : 観察と記録の実際 (時間見本法等) 第 6 回 アセスメント : 知能検査・発達検査のねらいと構造 第 7 回 アセスメント : 知能検査等の実施と注意点 第 8 回 アセスメント : その他のアセスメント方法について 第 9 回 アセスメント : 報告書の作成について 第10回 教材開発 : 教材開発の視点と方法 第11回 教材開発 : 教材開発演習 (企画) 第12回 教材開発 : 教材開発演習 (制作) 第13回 教材開発 : 教材開発演習 (発表・実践) 第14回 授業のまとめ 授業アンケート 教育実習による欠席については適宜対応する。							
(6)成績評価の方法	各回の小レポート (40%)、アセスメント回についての試験レポート (30%)、教材開発回についての試験レポート (30%) ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	それぞれのレポートを次の観点から100点満点で計算し、「成績評価の方法」に記載した配転で傾斜をかけて総合成績とする。 (i) 問題の設定が適切である (0 20点) (ii) 問題の背景を説明できている (0 20点) (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できている (0 20点) (iv) 指摘した課題について社会的・学術的な知識を用いて考察できている (0 20点) (v) 自分の意見を説得的に提示できている (0 20点)							
(8)事前事後学習の内容	各授業内容に沿って、学生間での演習、児童生徒を対象とした演習などが課せられる。この演習を事前事後学習とする。この授業は90時間の学習を必要とする内容のため、60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(9)履修上の注意	原則として特別支援教育コース3年生のみ。他コース生の受け入れも可能だが、授業時間外の課外実習が必要となること、免許取得のための科目としては余剰単位となることを承知しておくこと。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問、相談については、 宮地 : miyaji@shinshu-u.ac.jp 楠見 : kusumi@shinshu-u.ac.jp に事前の連絡を入れた上で、 メール内で問い合わせるか、研究室に訪問してください。							
【教科書】	・テキストとして用いる検査マニュアル等は準備したものを貸し出す。							
【参考文献】	・学習指導要領 (特別支援学校小・中学部) ・中澤潤・大野木裕明・南博文 (編著) , 心理学マニュアル 観察法, 北大路書房, 1977							

【参考文献】	・片桐和雄・北島善夫・小池敏英(著)，重症心身障害児の認知発達とその援助—生理心理学的アプローチの展開．北大路書房，1999 その他、授業の中で各内容に応じて紹介する。
--------	--